

新しい質的研究法の構築 なぜ今、文化心理学なのか？

BUILDING NEW
QUALITATIVE METHODS:
WHY CULTURAL PSYCHOLOGY IS AHEAD?

2022

9.29 THU.

14:00 - 16:30

会場：広島大学教育学部 第一会議室
& オンライン (zoom)

参加費：無料



オンラインでの参加希望の方は、
QRコードからお申込みください。
折り返し ZOOM の URL をお送りします。



講師

通訳あり

ヤーン・ヴァルシナー教授
(オールボー大学、デンマーク)

Jaan Valsiner, Ph.D
Aalborg University, Denmark

人間がいかに文化の担い手であるかを提起した著名な心理学研究者です。これまで心理学は科学的であるとして、人々の差異を誤差と見なし、「人間一般」の心理を理解しようと努めてきました。文化についても、「日本人」とか「アメリカ人」一般の国民性や文化的特質が比較されてきました。しかし人間は、文化によって方向づけられつつも、その文化に働きかけ、文化を変えていきます。そして文化から何を受け取り、どう働きかけるかは、一人ひとり千差万別です。ヴァルシナーは、従来の考え方とは逆に、心理学は、人間の心理現象が最高度に個別的であるからこそ、一般的知識へと到達しようと主張します。そして、人間と文化のダイナミックな関係性をまるごととらえる、新しい文化心理学を打ち立てました。

(『新しい文化心理学の構築』(新曜社) 紹介文より抜粋)